

2024年 第1回 北大本番レベル模試 世界史

採点基準

全3問 90分 150点満点

1 (50点)

採点基準

問1

(ア) 2点

(イ) (基準の合計9点→6点満点)

〔技術革新①〕鉄器／鉄製農具が普及した 2点

〔技術革新②〕牛耕が普及した 1点

〔社会の変化①〕深耕が可能になった／農業生産性が向上した 1点

〔社会の変化②〕小農経営／家族単位での農業が可能となった／行われるようになった 2点

〔社会の変化③〕氏族のまとまりが弱くなった／氏族共同体は解体へ向かった 2点

〔社会の変化④〕実力本位の風潮となった／農民の階層分化が進んだ 1点

問2

(ア) 2点 ・「華夷秩序」も可

(イ) (基準の合計7点→6点満点)

* 宋代の国際情勢 (基準の合計7点→5点)

〔宋代の国際情勢①〕北方の周辺民族に劣勢であった／屈辱的(不利)な講和を結んだ 2点

〔宋代の国際情勢②〕(①の具体例)契丹(キタイ)／遼／澶淵の盟 2点

〔宋代の国際情勢③〕(①の具体例)女真(女直)／金／靖康の変／紹興の和議 2点

〔宋代の国際情勢④〕(①の具体例)西夏(大夏)／慶暦の和約 1点

* 華夷思想が高揚した理由 (基準の合計2点→2点)

〔理由〕中国が自らの優位性／正統性を示す必要があった 2点

問3

(ア) 2点

(イ) 2点

問4 2点

問5

(ア) 2点

(イ) (基準の合計9点→6点満点)

〔議論の名称〕清談 2点

〔議論の特徴〕自由で奔放な議論／政治との関わりが薄い／世俗にとらわれない 3点

- 「哲学的」などの表現は1点のみ

〔議論の流行の背景①〕長期の戦乱／異民族の侵入 1点

〔議論の流行の背景②〕儒教は道徳／秩序／礼節を重視する 1点

〔議論の流行の背景③〕儒教への支持の低迷 2点

問6

(ア) 2点

(イ) (基準の合計11点→6点満点)

〔門下省①〕門下省は詔勅の内容を審議する 1点

〔門下省②〕門下省には門閥貴族勢力が結集した／拠点となった 2点

〔蔭位の制①〕蔭位の制(による官吏登用)が存在した 1点

〔蔭位の制②〕親の官職に応じて子供にも一定の地位の官職を与える 1点

〔荘園①〕門閥貴族に対しては大土地所有が認められていた 1点

〔荘園②〕門閥貴族は荘園を私有した 2点

〔官人永業田①〕高級官僚に対しては官人永業田が支給された 2点

〔官人永業田②〕官人永業田は世襲や売買が容認された 1点

(ウ) (基準の合計4点→3点満点)

〔政情①〕則天武後の時代である／則天武後の政策が原因である 1点

〔政情②〕(則天武后が)周を建てた 1点

〔政情③〕科挙官僚を積極的に登用した 2点

- 「門閥貴族の勢力を抑えた」などの表現は1点のみ

問7

(ア) 2点

(イ) 2点

問 8

(ア) 2点

(イ) (基準の合計 6点→3点満点)

〔全真教の特徴①〕 儒教・仏教・道教を調和させた／融合させた 2点

〔全真教の特徴②〕 王重陽が創始した 1点

〔全真教の特徴③〕 呪術的な要素を排除した 1点

〔全真教の特徴④〕 禅宗の影響を受けていた／修養を重視した／庶民的であった 1点

〔全真教の特徴⑤〕 道教の一派である 1点

2 (50点)

採点基準

問1

(ア) 2点

(イ) 2点

問2 (基準の合計10点→9点満点)

* 第1次産業革命 (基準の合計7点→5点)

〔第1次産業革命①〕 主な動力源は石炭／蒸気である 2点

〔第1次産業革命②〕 主な産業は軽工業である 2点

〔第1次産業革命③〕 (②の具体例は) 綿工業／繊維産業／紡績業である 2点

〔第1次産業革命④〕 家内(制)手工業から工場制機械工業に移行した 1点

* 第2次産業革命 (基準の合計7点→5点)

〔第2次産業革命①〕 主な動力源は石油／電力である 2点

〔第2次産業革命②〕 主な産業は重化学工業である 2点

〔第2次産業革命③〕 (②の具体例は) 鉄鋼業／化学工業／機械工業である 2点

〔第2次産業革命④〕 企業連合(カルテル)／企業合同(トラスト)／独占資本／金融資本体制が形成された 1点

問3

(ア) (基準の合計10点→6点満点)

〔自由主義的改革①〕 奴隷貿易が禁止された 2点

〔自由主義的改革②〕 東インド会社の対インド／対中国貿易独占権が廃止された 2点

- ・ 地域に言及せず東インド会社にだけ触れている場合 1点のみ

〔自由主義的改革③〕 穀物法が廃止された 1点

〔自由主義的改革④〕 (穀物法の内容は) 輸入穀物に高関税を課した 1点

- ・ 穀物法の内容として適切であれば可

〔自由主義的改革⑤〕 (③に貢献したのは) コブデンとブライト／反穀物法同盟 1点

〔自由主義的改革⑥〕 航海法が廃止された 1点

〔自由主義的改革⑦〕 (航海法の内容は) 貿易に使用される船舶の国籍を制限した 1点

- ・ 航海法の内容として適切であれば可

〔自由主義的改革⑧〕 (②③⑥を求めたのは) 産業資本家である 1点

(イ) 2点

問4

(ア) 2点

(イ) 2点

(ウ) (基準の合計13点→9点満点)

* 工業化の進展で生じた新たなジェンダー像

〔ジェンダー像①〕 女性は家事労働を行う従属的存在／家庭を支える従属的存在である 3点

- 女性の従属性にだけ言及している場合は1点のみ
- 従属性に言及していない場合不可

〔ジェンダー像②〕 (①の一方で) 男性は賃金労働を行う存在／家計を支える存在である 1点

* 20世紀前半に至る女性の社会進出過程

〔社会進出過程①〕 (19世紀半ばより) 女性参政権運動が生じた 1点

〔社会進出過程②〕 第一次世界大戦が勃発した 1点

〔社会進出過程③〕 (②の特徴として) 総力戦となった／労働力が不足した 1点

〔社会進出過程④〕 (②③の結果) 女性が工場／職場に動員された 2点

〔社会進出過程⑤〕 (②③④の結果) 女性の発言力が増した／女性の社会進出が進んだ 2点

〔社会進出過程⑥〕 戦後に (アメリカやイギリスなどで) 女性参政権が認められた 2点

- 第一次世界大戦終了後のことと分からない記述には加点しない

問5

(ア) 2点

(イ) 2点

問6

(ア) 2点

(イ) (基準の合計6点→6点満点)

* アメリカ北部 (基準の合計5点→3点)

〔北部①〕 北部は (南部よりも) 工業化が進展していた 2点

〔北部②〕 イギリス製工業製品に対抗する必要があった 1点

〔北部③〕 (①②の結果) 北部は保護貿易 (保護関税政策) / 国内市場の統一を求めた 2点

* アメリカ南部 (基準の合計7点→3点)

〔南部①〕 南部では綿花栽培が盛んだった 2点

- 作物名を明示していない場合は1点のみ

〔南部②〕 (①の背景に) 大農園農業 / プランテーションが盛んだった 1点

〔南部③〕（大農園では）黒人／奴隷が使役されていた 1点

〔南部④〕綿花は（綿工業が発展した）イギリスに輸出されていた 1点

〔南部⑤〕（①～④の結果）南部は自由貿易を求めた 2点

問7

（ア） 2点

（イ） 2点 ・「第1次企業勃興」も可

3 (50点)

採点基準

問1 各2点

問2

(ア) (基準の合計10点→7点満点)

[宗教運動①] (11世紀半ばに) 宗教運動が高揚した 1点

[宗教運動②] (①により) イスラーム教への改宗が進んだ 1点

[王朝①] (ベルベル人は) ムラービト朝・ムワッヒド朝を建国した 2点

- どちらかが欠けている場合不可

[王朝②] (①は) マラケシュを都とした／マグリブ地方に建てられた 1点

[王朝③] (ムラービト朝は) ガーナ王国を破った 1点

[王朝④] (③は) 内陸アフリカ／南方にイスラームを浸透させる契機となった 1点

[王朝⑤] (ムワッヒド朝は) 農業技術を改良した／交易で栄えた 1点

[王朝⑥] (両王朝は) イベリア半島にも進出した／支配した 2点

- 「ムワッヒド朝はレコンキスタと戦った」などの記述も可

(イ) 2点

問3

(ア) 2点

(イ) (基準の合計9点→6点満点)

[インド洋交易①] インド洋交易が栄えた 1点

[インド洋交易②] (①の具体例として) マリンディ／モンバサ／ザンジバル／キルワ 1点

[インド洋交易③] インド洋交易では象牙／金／奴隷が取引された 1点

[インド洋交易④] 港市にムスリム商人が移住した 2点

- 「ムスリム商人」がない場合には1点のみ

[インド洋交易⑤] アフリカ東海岸はインド洋交易の西側の拠点となった 1点

[スワヒリ語①] (スワヒリ語は) バントゥー諸語／アラビア語の影響を受けた 1点

[スワヒリ語②] (スワヒリ語は) 商用語 (商業用語) ／共通語として普及した 2点

(ウ) 2点 ・「王国」はなくても可

問4

(ア) 各2点

(イ) 2点

(ウ) 2点

問5

(ア) 2点 ・「政策」はなくても可

(イ) (基準の合計13点→9点満点)

〔内容①〕非白人に対する人種差別的政策／隔離政策 2点

- ・「非白人」が「黒人」であった場合は1点のみ

〔内容②〕(①の目的)少数の白人支配を維持するため 1点

〔内容③〕参政権／市民権が奪われた 2点

〔内容④〕黒人／被差別層／非白人は貧困／経済格差に苦しんだ 1点

〔廃止の経緯①〕マンデラを指導者として反対運動が展開された 2点

〔廃止の経緯②〕(反対運動を行った組織として)アフリカ民族会議(ANC) 1点

〔廃止の経緯③〕国際世論からの批判 2点

〔廃止の経緯④〕国連からの(経済)制裁 1点

〔廃止の経緯⑤〕(③④を受けて)(白人政権)デクラーク政権が廃止した 1点

問6

(ア) 2点

(イ) (基準の合計7点→6点満点)

〔南北問題①〕北半球の先進諸国と南半球の発展途上国の間で経済格差が開いた 2点

- ・「発展途上国」は「旧植民地」でも可
- ・「北半球」「南半球」など地理的要素への言及がない場合には1点のみ

〔南北問題②〕(①は)南北問題と呼ばれる 1点

〔南南問題①〕発展途上国の間でも経済格差が開いた 2点

〔南南問題②〕(①には)工業化の達成・未達成／産油国か否かという背景がある 1点

〔南南問題③〕(①は)南南問題(南南格差)と呼ばれる 1点